

## 26 貸借対照表の見方10

(買掛債務の回転日数を見ます・買掛債務ベース)

### 1日当り仕入の何日分あるか

月次試算表・貸借対照表(単位:千円) \_\_\_\_年\_\_月

まず、「1日当り仕入」を計算し、買掛金・支払手形の残高が何日分残っているかをみます。回転日数と言います。

- ・1日当り仕入は、年換算売仕入 ÷ 365日で求めます  
 今月迄の仕入 ÷ 経過月数 × 12 ÷ 365日 = 1日当り仕入  
 [            ] ÷ [     ] ヶ月 × 12 ÷ 365日 = 【            】
- ・今月買掛金 ÷ 1日当り仕入 = 今月買掛金の回転日数  
 [            ] ÷ [            ] = 【            】日分
- ・今月支払手形 ÷ 1日当り仕入 = 今月支払手形の回転日数  
 [            ] ÷ [            ] = 【            】日分
- ・買掛金回転日数 + 支払手形回転日数 = 買掛債権回転日数  
 [            ] 日分 + [            ] 日分 = 【            】日分

通常、回転日数と言えば、「1日当り売上」の何日分あるか、ということになりますが、仕入・在庫・販売それぞれの活動のバランスを見るときに買掛債務ベースの回転日数は有効

継続して記録確認することで、仕入と支払の状況を確認しましょう。

注)この買掛債務ベースの回転日数は、売掛金回転日数と同様に、企業規模が拡大している場合、買掛金の金額は大きくなりますが、支払条件が従来と同じならば買掛債務ベースの回転日数も同じはずです。在庫の増加に左右されないで、仕入金額と買掛債務との比較が可能となりますし、売掛債権や棚卸資産の回転日数と比較することにより、仕入・在庫・販売のバランスを見ることが出来ます。また、運転資金の把握に有効です。